



玉島っ子だより

第14号 令和7年10月14日

文責：校長 森田 祐香

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

5・6年生が、玉島川であゆの投網漁体験をしました！

10月2日(木)、5・6年生が投網漁体験をしました。投網の講師として、五反田の田中由彦さん、田中慶さん(里歩さんのお祖父さん、お父さん)、中里大介さん(波琉人さん、磨裳翔さんのお父さん)が投網の方法を教えてくださいました。

学校近くの玉島川での投網体験でもあり、この時間は他の学年も見学に来ましたので、5・6年生に限らず河原で網を投げる体験ができました。投げ方を学んだ後、5・6年生は実際に川に入り、放流していただいた鮎を手づかみしたり、投網で捕ったりと大変貴重な経験をさせていただきました。まさに、**玉島だからこそできる学びの時間**です。

投網をしている子ども達に気付かれた地域の方が、道の脇に車を停めて、めづら橋の上からしばらく様子を眺めておられました。そして「いい光景を見せてもらいました。ありがとう。」と声をかけてくださいました。この地で生まれ育つ子ども達が、ふるさと玉島を誇りに思いながら成長していくことを、地域の方も願っておられるのだと感じました。

最後には、田中さんや地域の方の御厚意で、たくさんの鮎をいただきましたので、この日は、各家庭において玉島の鮎の美味しさを堪能されたことでしょう。ご協力いただいた皆様にも感謝申し上げます。



5年生の家庭科でミシン学習をサポートしていただきました！

10月3日(金)、10日(金)、5年生のミシンを使った学習を行い、浜玉っ子応援団から2名の方がサポートに来てくださいました。5年生にとっては初めてのミシンですので、糸の通し方や縫い方、どれもドキドキの工程です。しかし、児童8名に対して、担任含めた3名態勢という環境の下、安心して学習を進めることができました。このような学習環境も、玉島小の魅力の一つです。次回、10月24日(金)にもサポートいただき、エンプロンを完成させます。応援団の皆様ありがとうございます。



平和集会を行いました。



10月8日(水)、全校児童で平和集会を行いました。さくらの会の方に「かわいそうなゾウ」の読み語りをしていただいた後、各学年が平和の取組の発表をしました。それぞれの学年で学んだ『平和とは何か』を、自分たちの言葉で伝え合いました。どの言葉も、心に響くものがありました。真剣に学んできたからこそだと思います。最後に、校長の話の中で、平和と言うと「戦争がないこと」はもちろん、他にも「誰もが安心して笑顔で暮らせること」も平和のひとつであること、そして、過去の悲しい出来事を知り、今の自分に何ができるか、自分はどうかを考えて行動することの大切さを伝えました。

これからの未来を担っていく子ども達が、平和な未来にするための知識や行動力を身に付けることができるように、様々な学習を通して指導・支援していきます。



オンラインで元芸人の講師の方から話し方を学びました！

10月10日(金)、上学年と下学年に分かれて、元お笑い芸人で、現在はイベントMCとしてご活躍されている青木たつやさんに、授業をしていただきました。テーマは、「人前で話すこと、表現し合うことを楽しむ」とし、話し方のコツを学習しました。今回、東京とオンラインでつないでの授業でした。画面越しでしたが、十分なやり取りができ、拍手や返事、表情や声の工夫を通して、話すこと・聞くことの楽しさをグループワークしながら体験しました。

今年度の玉島小学校は、学力向上として「表現力の育成」に重点を置いています。その指導の一環として、外部人材の知見やネットワークを活用して、表現力の育成を図っています。あと、2回計画しており、10月28日(火)はオンライン、11月19日(水)は対面での授業です。いろいろな人との関わりができるように、それぞれ違う講師の方をお願いしています。

学校では、日々の様々な行事や学習を通して、何を学んだかを振り返り、アウトプットすることを大事にしながら、**主体的に学ぶ楽しさや表現するよさを実感できるように**授業を工夫していきます。

